

ホソヒメギセル *Megalophaedusa gracilispira* (Möllendorff)

【選定理由】

近畿以西、中国、四国、九州に分布する小形のキセルガイで、豊田市足助町はその分布の太平洋側の東限である。

【形態】

殻高 9 mm、殻径 2 mm、9 層。円筒状の紡錘形で淡褐～黄白色。彫刻は強く密に現れる。殻口はやや傾斜し洋梨形。唇縁は広く反転し、微かに螺層から突き出る。主襞の殻外面上に溝がある。上・下腔襞の間に小さな腔襞が 2 個見られる。



【分布の概要】

県内では豊田市猿投山山頂と豊田市足助町 2 ヶ所の合計 3 ヶ所からしか見つかっていない。県外では、近畿、中国、四国、九州（北部）に分布する。和歌山県那智山、護摩壇山、奈良県十津川玉置山、徳島県桃源洞、香川県小豆島、福岡県豊前市犬ヶ岳等はその知られた産地である。

【生息地の環境／生態的特性】

大木の根元などの落ち葉の中、樹洞、朽ちた木や腐った木の層の中から見つかることが多い。卵生である。

【現在の生息状況／減少の要因】

愛知県では豊田市猿投山山頂と豊田市足助町 2 ヶ所の合計 3 ヶ所からしか見つかっていない。限られた環境にしか生息しないので、大木の根元などの落ち葉の中、樹洞、朽ちた木や腐った木の層の中などの壊れやすい環境が整理されると絶滅する。

【保全上の留意点】

猿投山の山頂部等において、神社周辺の枯れた木、倒木、朽ちた木等の整理を避け、そのまま保全するように留意すべきである。

【特記事項】

県内の生息地は本種の太平洋側の分布東限である。

【関連文献】

湊 宏, 1994. 日本産キセルガイ科貝類の分類と分布に関する研究, pp.100-101. 日本貝類学会.

湊 宏, 1988. 日本陸産貝類総目録, p.72. 日本陸産貝類総目録刊行会.

守谷茂樹, 2004. 足助町でホソヒメギセルを確認. かきつばた, 29: 42-43.

東 正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑, p.73. 保育社.

奥谷喬司, 1986. 貝類. 決定版生物大図鑑, p.251. 世界文化社.

(2009 年版 (原田) を一部修正)